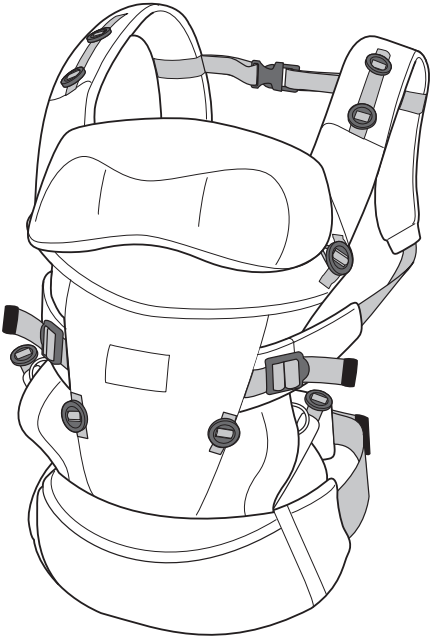
20701785A

AILEBEBE

エールベベ・ベビーキャリア スリー

取扱説明書



動画
取扱説明

本品を使用する前に必ず本書をよく読み、内容を充分にご理解のうえ、正しくご使用ください。本書をお読みになったあとは、いつでも読むことができるところに大切に保管してください。

目次

ご使用いただく前に

はじめに 4
本品の使用条件 5
各部の名称と付属品 6
安全にお使いいただくために 8
安全認証 11
SG マークの被害者救済制度 11
抱き方のバリエーションと事前調節 12
使用時のチェックポイント 19

対面抱っこ

対面抱っこの使用方法 22

前向き抱っこ

前向き抱っこの使用方法 28

おんぶ

おんぶの使用方法 32

その他

フードの使用方法 36
お手入れのしかた 37
よくあるご質問 39
製品情報 40
保証について 41
保証書 42

はじめに

このたびは、本品をお買い上げいただきましてありがとうございます。

重要！

- 本品を使用する前に必ず本書をよく読み、内容を充分にご理解のうえ、正しくご使用ください。
- 本書をお読みになったあとは、いつでも読むことができるところに大切に保管してください。
- 本書のイラストは、説明をわかりやすくするために実物とは形状が異なる場合があります。

保証について

本品は、取扱説明書の保証規定（41ページ）に基づき、日本国内にて1年間の製品保証をいたします。
本品をご購入時のレシートなど、お買い上げ日のわかるものを大切に保管してください。

ユーザー登録

製品は万全な品質管理体制のもとに製造されておりますが、万一製品に関する製造上の問題等が生じた場合、直ちにお客様にお知らせするため、ユーザー登録をお願いします。
スマートフォンまたはパソコンで、下記のURLまたはQRコードから登録できます。

https://ailebebe.jp/entry.html

本品の使用条件

お子さまの月齢：生後14日–36 ヶ月まで

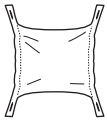
※ 対面抱っこ：生後14日–1 ヶ月まではSGマーク制度の対象外です。

お子さまの体重：3.2kg–15kgまで

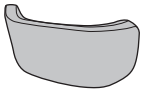
装着する方のウエストサイズの目安：約60–132cmまで（衣服の上から）

各部の名称と付属品

付属品



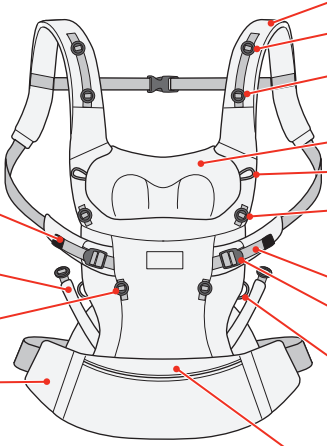
フード
(本体に組み込み済)



クッション
(本体に組み込み済)

取扱説明書

本体表側



①ストラップまとめ用ゴム

②ベビーレッグストラップ

③ホールドチェンジボタン

④ウエストベルト

⑤肩ストラップ

⑥フード用ボタン

⑦ヘッドサポート用ボタン(上)

⑧ヘッドサポート

⑨ヘッドサポートループ

⑩ヘッドサポート用ボタン(下)兼フード用ボタン

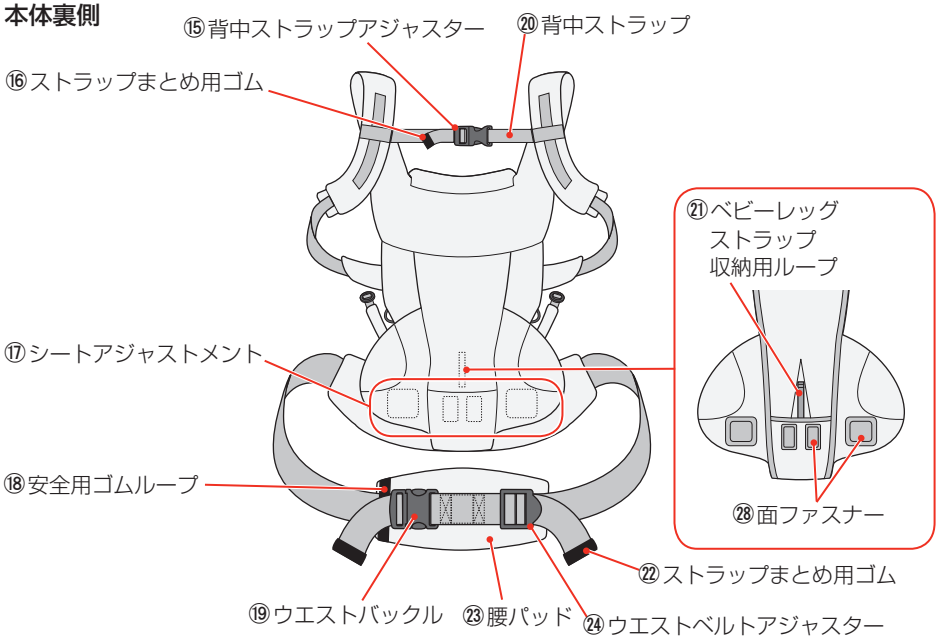
⑪肩調節ストラップ

⑫肩ストラップアジャスター

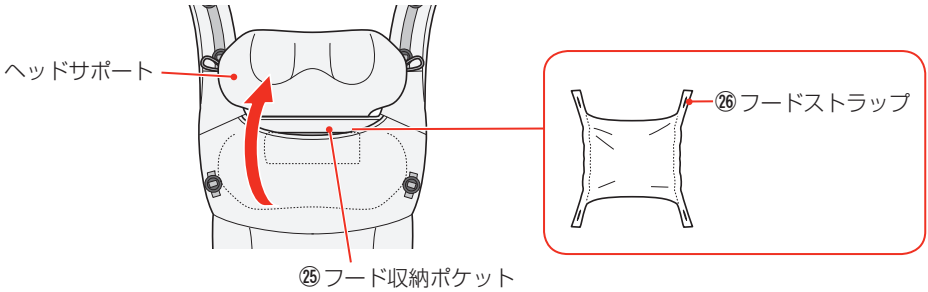
⑬ベビーレッグストラップ用ループ兼ホールドチェンジ用ループ

⑭ラクダキクッション

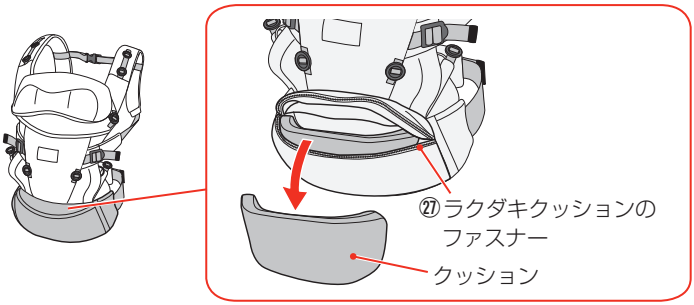
本体裏側



フード



クッション



安全にお使いいただくために

安全にお使いいただくための注意事項

本書および製品本体では、安全にお使いいただくための注意事項を次のように表示しています。表示内容をよくご理解ください。

⚠警告	警告事項を守らないと、死亡や重傷に至る重大な事故を起こすおそれがあります。

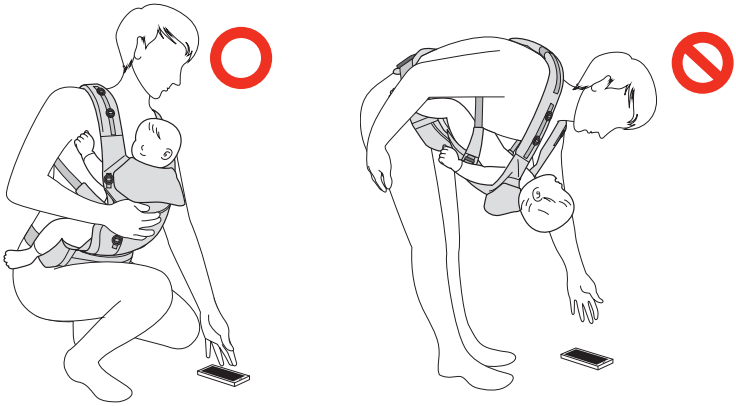
⚠注意	注意事項を守らないと、ケガを負ったり、物的損害が生じるおそれがあります。

■ 使用上の注意事項

☞参考　本品を使用するうえで、知っておいていただきたい事項を示しています。

⚠警告　落下の危険性

- お子さまが開口部より落下するおそれがありますので正しくご使用ください。
- かがんだり身体を傾ける際は、お子さまが落下しないように手で支え、充分に注意してください。また、お子さまの頭が下向きにならないよう腰を曲げるのではなく膝を曲げてかがんでください。



- 正しく調節し、固定箇所を確実に締めてください。正しく装着しないとお子さまが落下するおそれがあります。
- 抱っこやおんぶの使用時、大きく前かがみにしないでください。お子さまが滑り落ちる可能性があります。
- ウエストベルトの装着時に必ず安全用ゴムループを使用してください。

- お子さまを乗せたままウエストベルトを外したり、シートアジャストメントを調節しないでください。
- お子さまの体重が4.5kg未満の場合は、ベビーレッグストラップを使用してください。ただし、締め付けがきつい場合は使用しないでください。

⚠警告 窒息の危険性

- 生後4 ヶ月未満のお子さまは、使用者の身体に顔を強く押し当てられた場合に本品内で窒息するおそれがあります。
- お子さまを使用者の身体に強く縛り付けずに、お子さまの頭部を動かせる余裕をもって装着してください。
- 常にお子さまの状態に注意しながら使用し、気道をふさぐことがないようにしてください。特におんぶの場合は、目が届きにくいので注意してください。
- お子さまが眠っている際は、前向き抱っこをしないでください。
- 前向き抱っことおんぶでは、フードを使用しないでください。
- 前向き抱っこでは、ヘッドサポートを立ち上げて使用しないでください。

⚠警告 使用時の注意

- 抱っこで使用する場合、歩行時に、お子さまの頭で前方、特に足元の視界が妨げられないよう注意してください。
- 使用者やお子さまの動きによって使用者のバランスに影響を与える可能性があります。使用中は常に両手が使えるようにしてください。
- スポーツやレジャー、家事をするときは使用しないでください。転倒などのおそれがあります。
- 料理をするときは使用しないでください。やけど等のおそれがあります。
- 自転車に乗るときは使用しないでください。倒れたときに重篤な危害が及ぶおそれがあります。
- 飛行機、自動車、タクシー、バイク等に乗るときは使用しないでください。

⚠注意 着脱時の注意

- 着脱はできるだけ低い姿勢や安全な場所で行ってください。慣れるまでは人に手伝ってもらい着脱してください。 また、おんぶの時には特に注意してください。
- 首が完全にすわるまでは、対面抱っこでのみ使用してください。
- 使用する前にバックルなどの固定部が必ずとめられていることを確認してください。部品の紛失や破損により固定できない箇所がある場合は使用を中止してください。また装着後にも緩みがないか確認してください。
- 抱っこで使用する場合、お子さまの頭で前方、特に足下の視界が妨げられないよう装着してください。

安全にお使いいただくために

⚠注意 使用時の注意

- ご使用前にすべてのバックル、ベルト、ストラップ、調節パーツが安全に機能していることを点検してください。
- 早産児および呼吸器疾患等のあるお子さまは、生後1ヶ月でも使用を控えてください。必ず医師に相談してから使用してください。
- バックル開口部にお子さまの手指を入れないように注意してください。隙間に指が入って抜けなくなったり、傷害の危険性があります。本品を使わないときもバックルが開口しないよう、はめ込んでおいてください。
- ほ乳後30分間位はおなかを圧迫することがあり、消化吸収を助けるため使用しないでください。
- 連続して使用するときは、体調の変化や装着状況を確認する必要があるため2時間以下としてください。
- 体調が優れない時や、身体に痛みを感じたときは使用をお控えください。
- お子さまが変調をきたした時には使用を止め、直ちに医師にご相談ください。
- ストーブ等火気の近くに置くとバックル等が変形し、事故につながるおそれがあります。火気の近くには置かないでください。
- 屋外や直射日光のあたる場所、車内など高温になりやすい場所に放置、保管しないでください。
- 本品の上に物を載せた状態で保管しないでください。重さによりクッションが変形するおそれがあります。
- 未使用時はお子さまの手の届かないところで保管してください。
- 使用中の喫煙、飲食は避けてください。やけど等のおそれがあります。
- 運動や眠気、飲酒、または医療行為によりバランスを保ちづらい場合や運動機能に障害がある場合は使用しないでください。
- 妊娠中は使用しないでください。
- 過度に混み合っている状況では使用しないでください。
- 装着時の汗や水など、湿った状態での摩擦等により、他のものに色移りすることがあります。

安全認証

本品は、EN 13209-2:2015とSGマーク制度の安全要求事項を満たしています。

SG マークの被害者救済制度

SGマーク制度は、SGマーク付き製品に欠陥があり、その欠陥により人身事故が発生した場合に製品安全協会が賠償措置を行う制度です。
本品の場合は、ご購入日より3年以内が有効期限となります。

本品のSGマーク制度の適用対象月齢は以下のとおりです。

■ 対面抱っこ

生後1 ヶ月から24 ヶ月(体重13kg)まで

■ 前向き抱っこ

首すわり完了後の5 ヶ月から24 ヶ月(体重13kg)まで

■ おんぶ

6 ヶ月から36 ヶ月(体重15kg)まで

■ 賠償についてのご注意

- 日本国内で発生した事故に限ります。また、物的な損害は賠償の対象となりません。
- 取扱説明書の未読、誤った使用、不適切な維持や管理など、消費者側に過失が認められる場合は、賠償ができない、あるいは減額されることがあります。
- 事故品、その他証拠品などは、製品安全協会から連絡するまでそのままの状態で保存願います。保存状況が悪いと十分な事故原因究明ができず賠償できないことがあります。

■ 製品の欠陥により事故が起きた場合

速やかに下記までご連絡ください。
担当者が事故や被害の程度、事故品の状況などを確認し、請求のための手続きを説明のうえ事故発生届等の申請に必要な書類を送付いたします。
送付された事故発生届等の書類および、事故品の受理をもって正式な申請の受理となります。
事故発生後、時間が経ってしまうと事故当時の状況を正確に把握することが困難となり、原因究明も難しくなります。
そのため、原則、事故の発生から 60 日以内に事故発生届等を協会にご提出いただけるようお願いをしています。
なお、原則として、申請ができるのは被害を受けられた方、あるいは、その代理人の方からのみとなります。

一般財団法人　製品安全協会
〒 110-0012 東京都台東区竜泉 2-20-2 2F
03-5808-3303

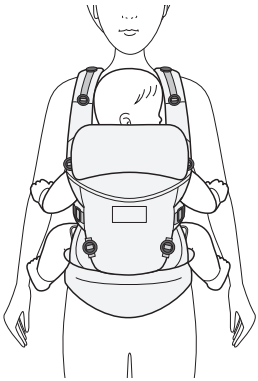
抱き方のバリエーションと事前調節

抱き方のバリエーション

※ 対面抱っこ：生後14日–1 ヶ月まではSGマーク制度の対象外です。

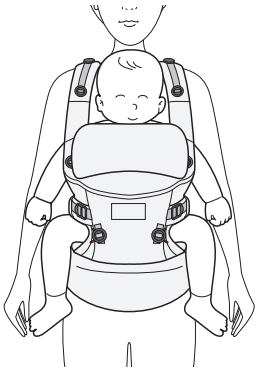
対面抱っこ

生後14日–24 ヶ月
(3.2kg–13kg)



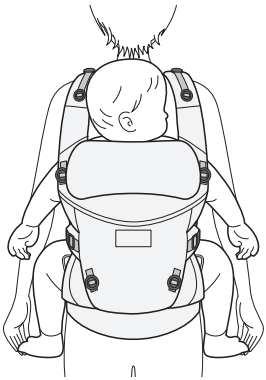
前向き抱っこ

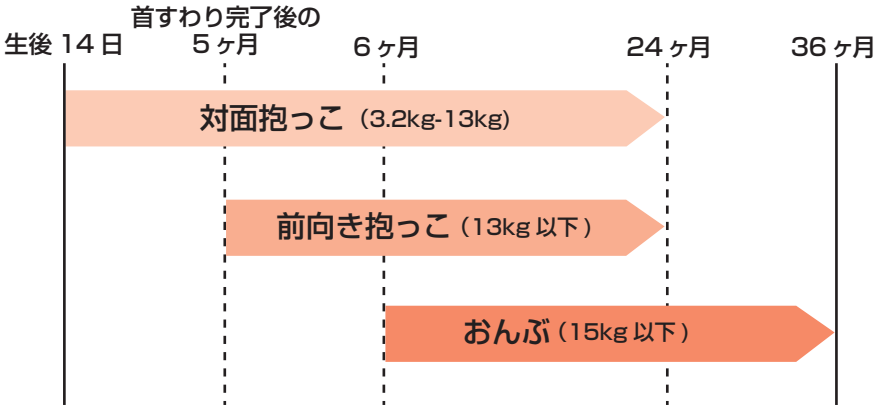
首すわり完了後の
5 ヶ月–24 ヶ月
(13kg以下)



おんぶ

6 ヶ月–36 ヶ月
(15kg以下)





装着前の調節

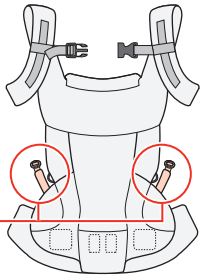
- お子さまの体重が4.5kg未満の場合は「ベビーレッグストラップ」を使用してください。お子さまの体重が4.5kg以上の場合は「ベビーレッグストラップ」を本品内に収納してください。
- お子さまの成長や状態に合わせて「シートアジャストメント」「ヘッドサポート」「ホールドチェンジボタン」を調節してください。

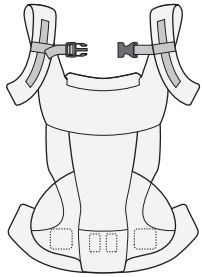
ベビーレッグストラップ

⚠警告

お子さまの体重が4.5kg未満の場合は、ベビーレッグストラップを使用してください。

体重4.5kg未満	体重4.5kg以上
ベビーレッグストラップを**使用する**	ベビーレッグストラップを**使用しない**
本体裏側	本体裏側



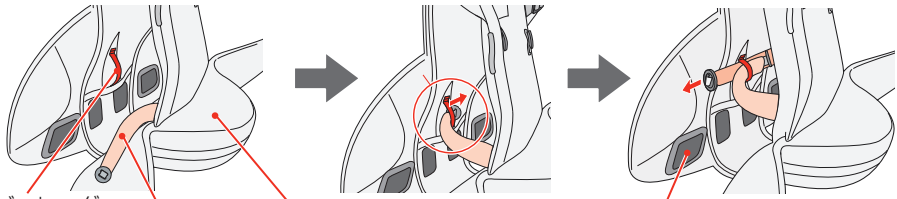


※ただし、ベビーレッグストラップによる締め付けがきつい場合は使用しないでください。

下記の収納方法を参照し、ベビーレッグストラップを収納してください。

ベビーレッグストラップを使用しない場合の収納方法

←本体裏側　本体表側→



❶ シートアジャストメント裏側中央にあるベビーレッグストラップ収納用ループに左右のベビーレッグストラップを片方ずつ通します。

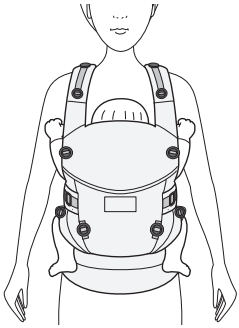
❷ シートアジャストメントを面ファスナーで留め、元に戻します。

抱き方のバリエーションと事前調節

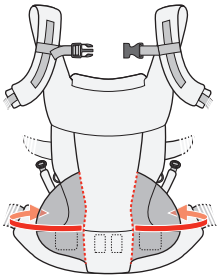
シートアジャストメント

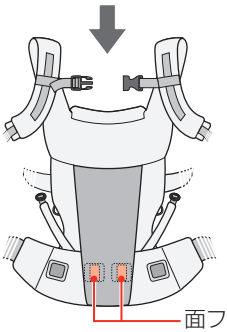
対面抱っこ

生後14日–約3 ヶ月
(3.2kg–7kg)

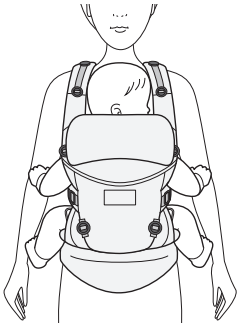


シートアジャストメントを**裏側に折って**
面ファスナーで留める

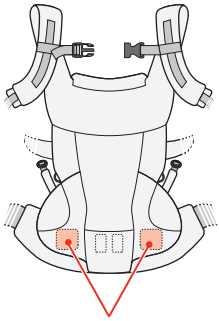




約3 ヶ月–24 ヶ月
(13kg以下)



シートアジャストメントを**開いた状態**で
面ファスナーで留める

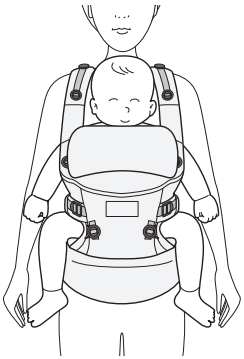


シートアジャストメントを切り替える時期や体重はあくまでも目安です。

使用時のチェックポイント (20 ページ 4) を参照し、お子さまの体型に合わせてシートアジャストメントを調節してください。

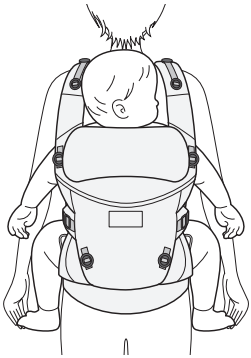
前向き抱っこ

首すわり完了後の
5 ヶ月–24 ヶ月
(13kg以下)

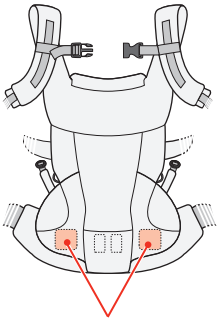


おんぶ

6 ヶ月–36 ヶ月
(15kg以下)



シートアジャストメントを**開いた状態**で
面ファスナーで留める

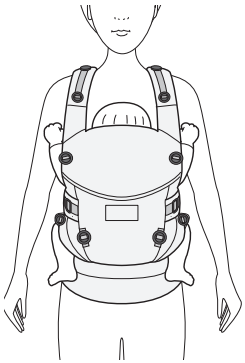


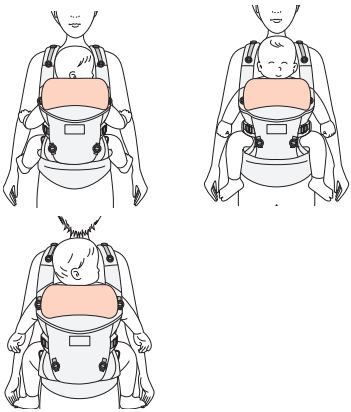
抱き方のバリエーションと事前調節

ヘッドサポート

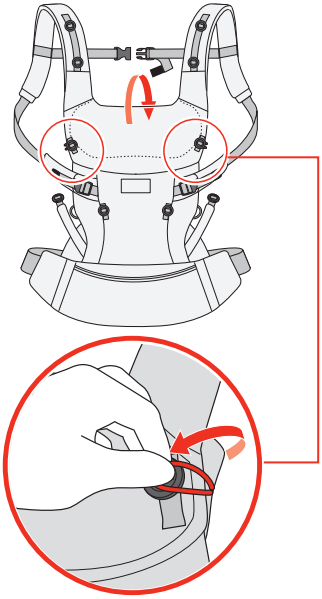
※ 対面抱っこ：生後14日–1 ヶ月まではSGマーク制度の対象外です。

生後14日－6週まで	7週以降
対面抱っこ	対面抱っこ/前向き抱っこ/おんぶ

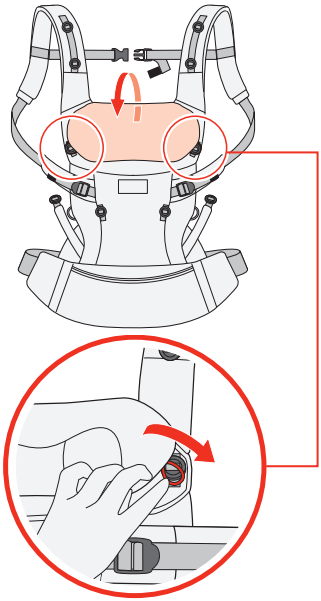




ヘッドサポートを**裏側に折る**



ヘッドサポートを**表側に折る**

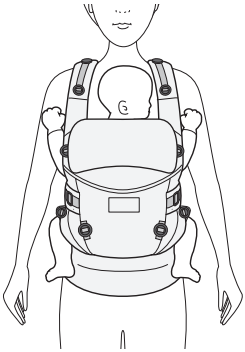


ヘッドサポートループをヘッドサポート用ボタン（下）に引っ掛ける。

7週以降

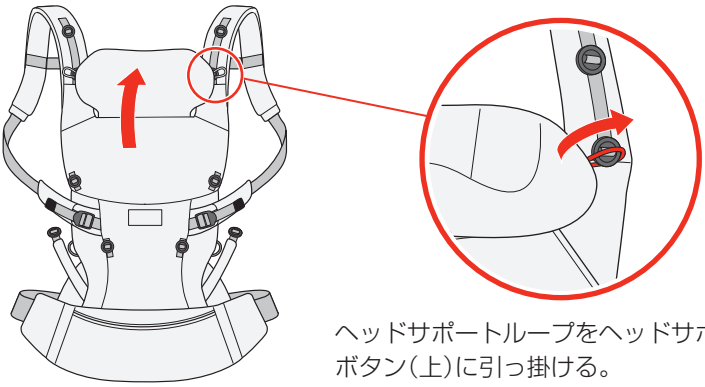
首すわり前で高身長

7週以降でヘッドサポートを表側に折ると、お子さまの耳が完全にヘッドサポートから出てしまう場合



お子さまの睡眠時

ヘッドサポートを
立ち上げる



ヘッドサポートループをヘッドサポート用ボタン(上)に引っ掛ける。

参考

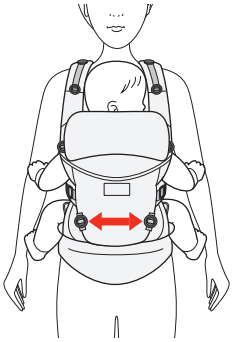
ヘッドサポート用ボタンはスライドさせて位置を調節できます。

抱き方のバリエーションと事前調節

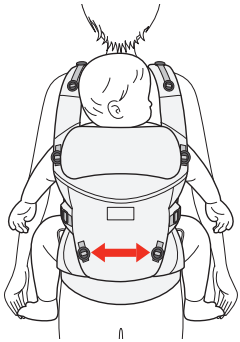
ホールドチェンジボタン

前面のカバーの幅を調節します。

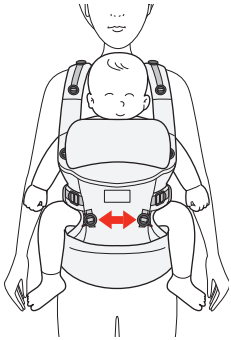
対面抱っこ



おんぶ

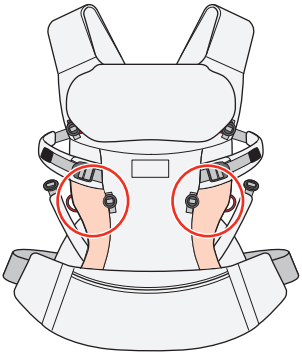


前向き抱っこ



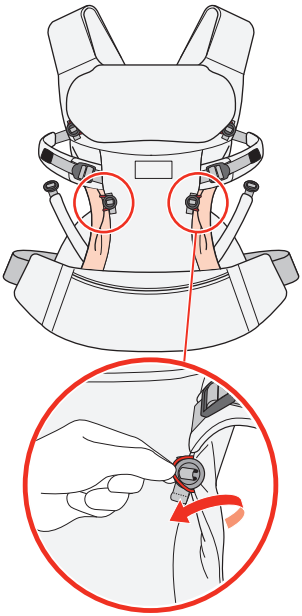
ホールドチェンジボタンを
使用しない

前面のカバーの幅が広い状態で使用します。



ホールドチェンジ用ループを
ホールドチェンジボタンに引っ掛ける

前面のカバーの幅が狭い状態で使用します。

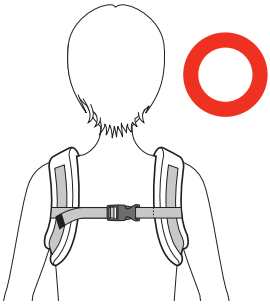


ホールドチェンジ用ループをホールドチェンジボタンに引っ掛ける。

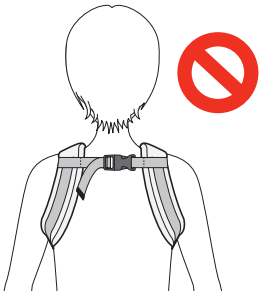
使用時のチェックポイント

ー 快適にお使いいただくための５つのポイント ー

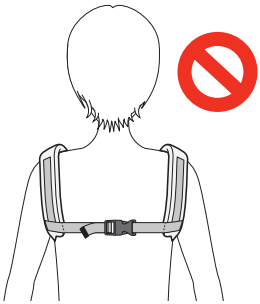
1 背中ストラップの位置



背中ストラップの位置が肩甲骨の真ん中あたりになっている。



背中ストラップの位置が高すぎる



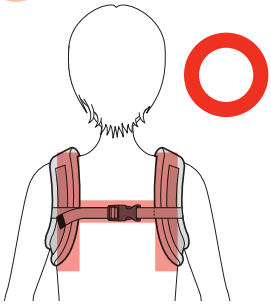
背中ストラップの位置が低すぎる

⇒背中ストラップの位置を調節してください。

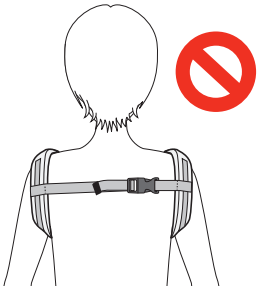
☞ 参考

背中ストラップの位置が高すぎたり低すぎたりすると、身体へ負担がかかりやすくなります。

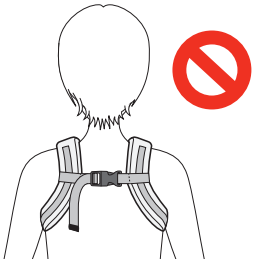
2 背中ストラップの長さ



肩ストラップと背中ストラップがH字型になっている。



背中ストラップが長すぎる



背中ストラップが短すぎる

⇒背中ストラップの長さを調節してください。

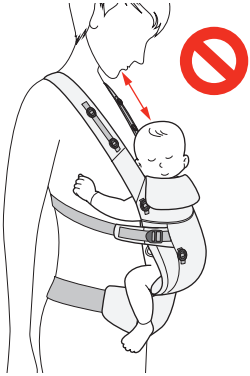
☞ 参考

背中ストラップの長さが長すぎたり短すぎたりすると身体へ負担がかかりやすくなります。

使用時のチェックポイント

3 お子さまを抱く高さ

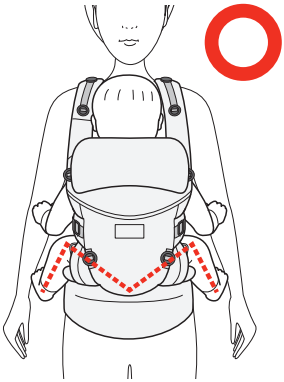
使用者が首を前方に曲げた時、使用者のあごがお子さまの頭に触れる位置になっている。



お子さまの位置が低い

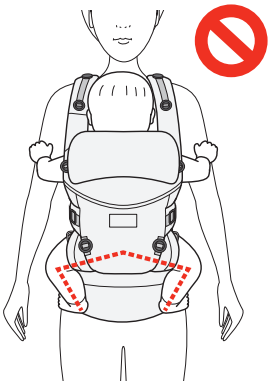
⇒ウエストベルトを装着する位置や肩ストラップの長さを調節してください。

4 お子さまの開脚



自然なM字型

お子さまの脚が自然なM字型になっている。



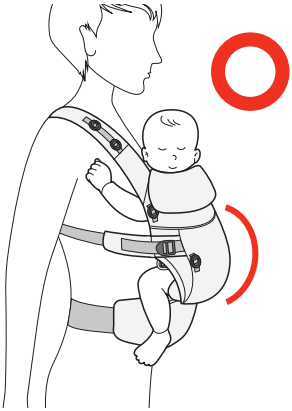
太ももが支えられていない

足が曲がっていない

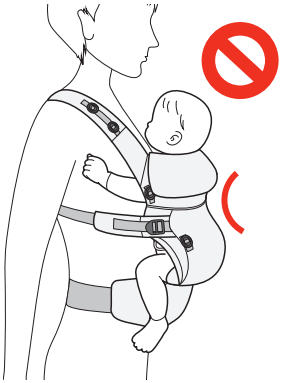
⇒シートアジャストメントを調節してください。（14ページ）

⚠注意 シートアジャストメントはお子さまの脚が自然なM字型になるように正しく調節してください。

5 お子さまの姿勢



お子さまの腹部と使用者との間に手のひら一枚分ほどの余裕があり、お子さまの背中が自然なC字型になっている。



肩ストラップが短すぎて背中が反っている。

⇒肩ストラップの長さを調節してください。

対面抱っこの使用方法

生後 14 日 (3.2kg) –24 ヶ月 (13kg)

※生後14日– 1 ヶ月まではSGマーク制度の対象外です。

⚠警告

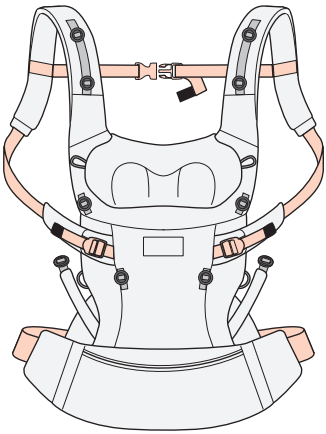
- 装着中は必ずしっかりとお子さまを支えてください。
- 着脱はできるだけ低い姿勢や安全な場所で行ってください。慣れるまでは人に手伝ってもらい着脱してください。

❶ **装着前の調節(13–18ページ)を確認し、「ベビーレッグストラップ」「シートアジャストメント」「ヘッドサポート」「ホールドチェンジボタン」の調節および確認を行ってください。**

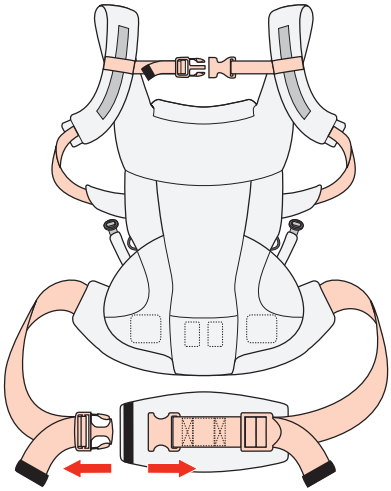
❷ **肩調節ストラップ、背中ストラップ、ウエストベルトを緩め、ウエストバックルを外します。**

ストラップやベルトがきつく締まっている状態では上手く装着できません。

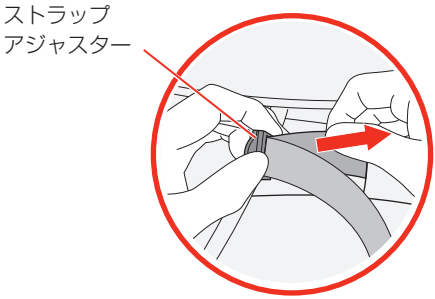
表側



裏側

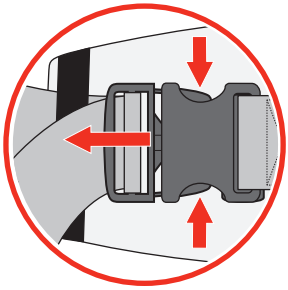


ストラップの緩め方



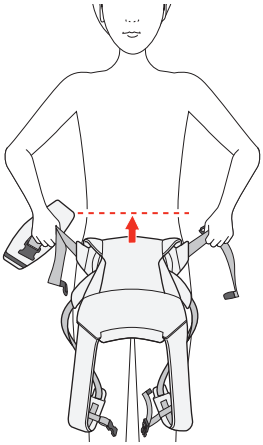
ストラップアジャスターの先端を引き上げながら、下側のストラップを引っ張ります。

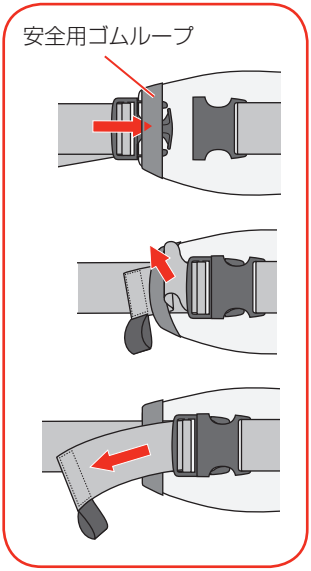
バックルの外し方



バックルのボタンを押しながら、ウエストベルトを引き抜きます。

❸ ウエストベルトを装着します。

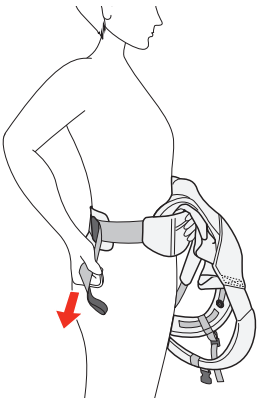




⚠警告

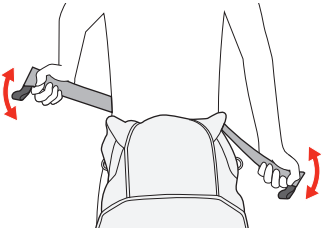
ウエストバックルは
必ず安全用ゴムループに
通してから留めてください。

ウエストベルトをウエストに巻き、ウエストバックルを安全用ゴムループに通して
バックルを留めます。
ストラップの余りは安全用ゴムループの外に出します。

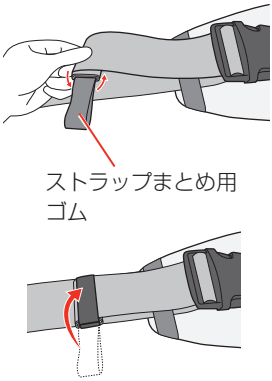


ベルトが緩い場合

左右のベルトを上下に動かしながら引っ張ることでベルトがより締まります。



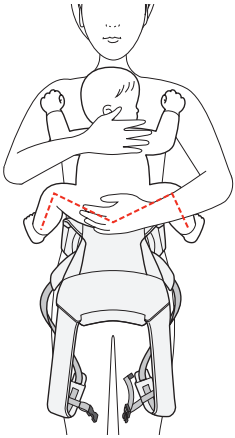
ストラップのまとめ方



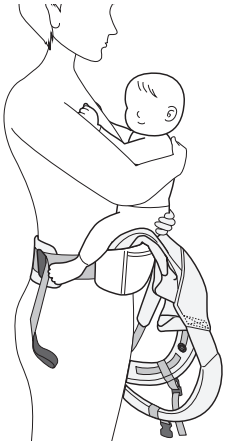
片手でウエストベルトを支え、長さが左右均等になるように片方ずつ締めます。
ストラップの余りはストラップまとめ用ゴムでまとめます。

❹ お子さまを対面で抱き上げます。

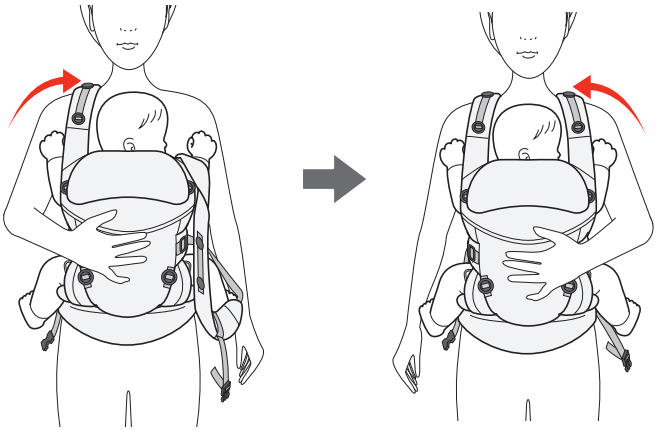
正面



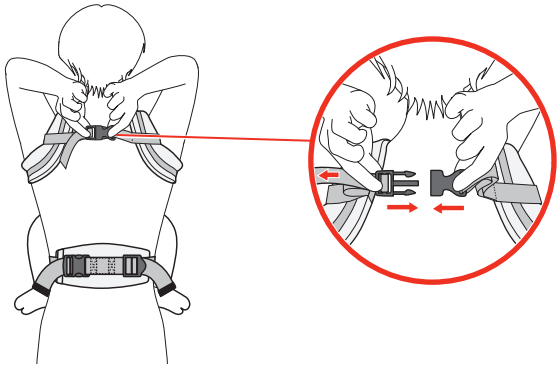
側面



❺ 本品をお子さまの背中に被せて、肩ストラップを両肩にかけます。



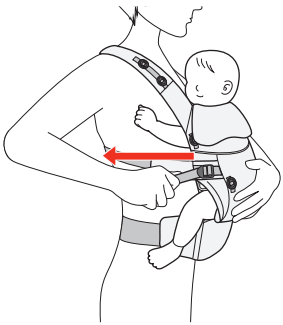
❻ 背中ストラップを留めます。



首の後ろに腕を回して背中ストラップを留め、背中ストラップの長さを調節してください。

❼ 肩ストラップの長さを調節します。

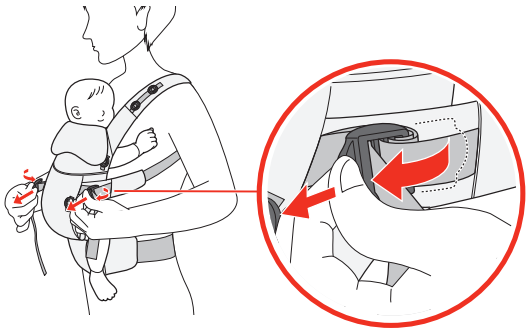
⚠警告 お子さまを使用者の身体に強く縛り付けずに、お子さまの頭部を動かせる余裕をもって装着してください。



肩調節ストラップを後方に向かって締めます。
肩ストラップに緩みがなく、長さが左右均等になるように調節してください。
ストラップの余りはストラップまとめ用ゴムでまとめます。

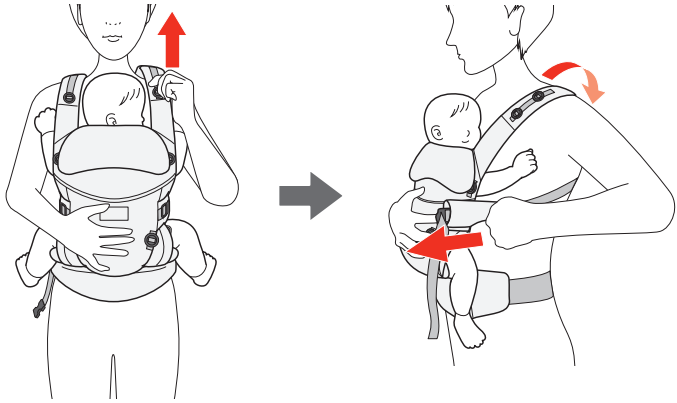
ストラップのまとめ方
24ページ❸へ

肩ストラップの緩め方

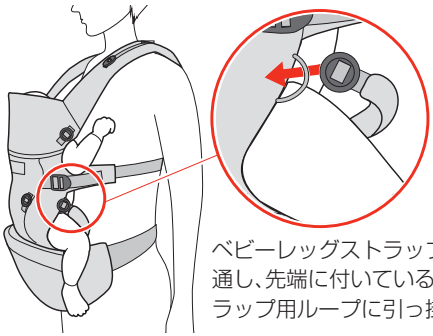


肩ストラップアジャスターの先端を引き上げながら、前方に向かって引っ張ります。
一回で緩み切らなかった場合は、同じ動作を繰り返し行ってください。

【肩ストラップを締めてもまだ緩い場合】
肩ストラップを持ち上げ、背中側から肩ストラップを前方にたぐり寄せ、再度、肩調節ストラップを締めます。



体重が4.5kg未満のお子さまの場合は、両側のベビーレッグストラップを留めます。
脚の開口部を小さくするため、ベビーレッグストラップを装着します。



ベビーレッグストラップをお子さまの脚の内側から通し、先端に付いているボタンをベビーレッグストラップ用ループに引っ掛けます。

⚠警告
体重が4.5kg未満のお子さまの場合は、ベビーレッグストラップを使用してください。
ただし締め付けがきつい場合は使用しないでください。

●使用時のチェックポイント (19-21 ページ) を確認してください。

●お子さまを降ろす際は、抱くときと逆の手順で行ってください。

※ベビーレッグストラップを使用した場合は、最初にベビーレッグストラップを外してください。

前向き抱っこの使用方法

首すわり完了後の 5 ヶ月 –24 ヶ月 (13kg 以下)

⚠警告

- ヘッドサポートを折った状態でお子さまの口が完全に出る身長になるまで前向き抱っこをしないでください。
- 前向き抱っこではヘッドサポートを立ち上げて使用しないでください。
- 前向き抱っこではフードを使用しないでください。
- お子さまの睡眠時には前向き抱っこをしないでください。
- 装着中は必ずしっかりとお子さまを支えてください。
- 着脱はできるだけ低い姿勢や安全な場所で行ってください。慣れるまでは人に手伝ってもらい着脱してください。

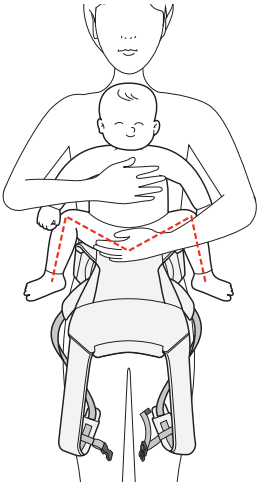
❶ 装着前の調節(13–18ページ)を確認し、「ベビーレッグストラップ」「シートアジャストメント」「ヘッドサポート」「ホールドチェンジボタン」の調節および確認を行ってください。

❷ 肩調節ストラップ、背中ストラップ、ウエストベルトを緩め、ウエストバックルを外します。

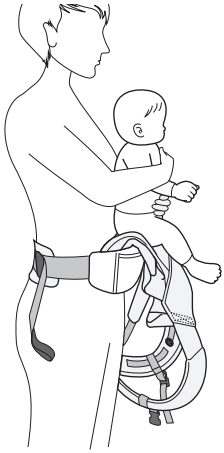
23 ページ ❷ へ

❸ ウエストベルトを装着してお子さまの身体が前向きになるように抱き上げます。

正面

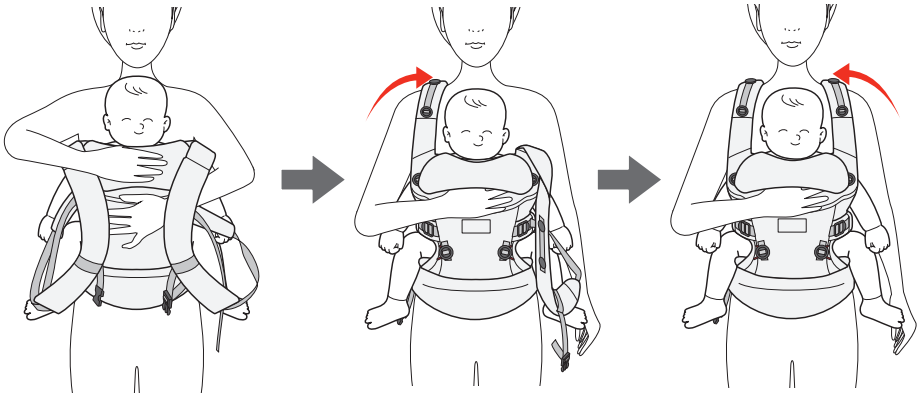


側面



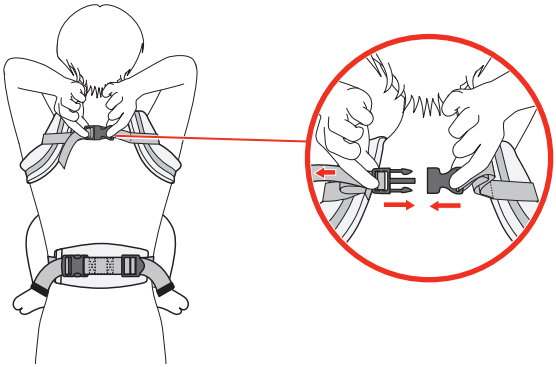
対面抱っこと同じ手順でウエストベルトを装着し(24ページ ❸)、お子さまの身体が前向きになるように抱き上げます。

❹ 本品をお子さまの胸に被せて、肩ストラップを両肩にかけます。



⚠注意 肩ストラップをお子さまの脚に引っ掛けないように注意してください。

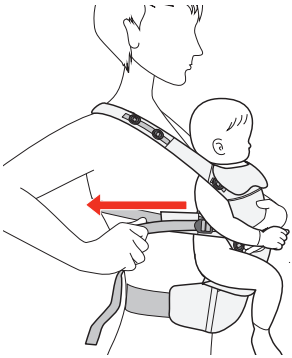
❺ 背中ストラップを留めます。



首の後ろに腕を回して背中ストラップを留め、背中ストラップの長さを調節してください。

❻ 肩ストラップの長さを調節します。

⚠警告　お子さまを使用者の身体に強く縛り付けずに、お子さまの頭部を動かせる余裕をもって装着してください。



肩調節ストラップを後方に向かって締めます。
肩ストラップに緩みがなく、長さが左右均等になるように調節してください。
ストラップの余りはストラップまとめ用ゴムでまとめます。

ストラップのまとめ方　24ページ ❸へ
肩ストラップの緩め方　26ページ ❼へ
肩ストラップを締めてもまだ緩い場合　27ページ ❼へ

●使用時のチェックポイント (19 ページ) を確認してください。

●お子さまを降ろす際は、抱くときと逆の手順で行ってください。

おんぶの使用方法

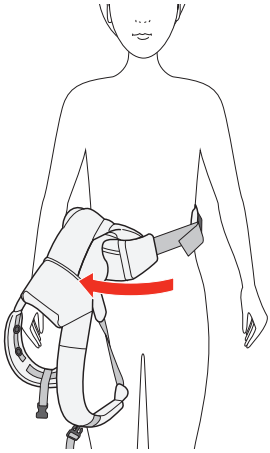
6 ヶ月 –36 ヶ月 (15kg 以下)

⚠警告

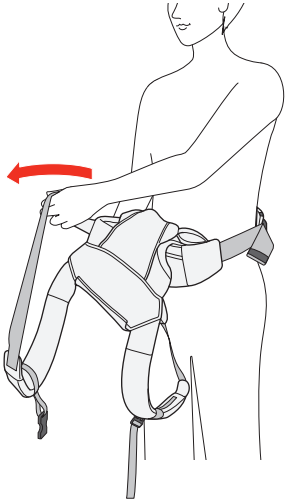
- 首が完全にすわるまではおんぶをしないでください。
- 装着中は必ずしっかりとお子さまを支えてください。
- 着脱はできるだけ低い姿勢や安全な場所で行ってください。慣れるまでは人に手伝ってもらい着脱してください。

❶ 装着前の調節(13–18ページ)を確認し、「ベビーレッグストラップ」「シートアジャストメント」「ヘッドサポート」「ホールドチェンジボタン」の調節および確認を行ってください。

❷ ウエストベルトを装着し、右側にずらします。

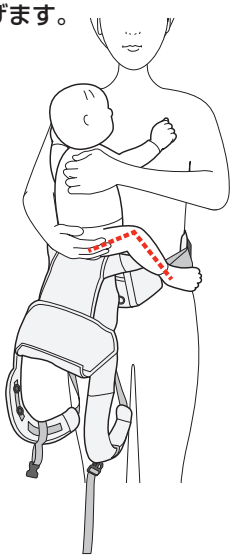


対面抱っこと同じ手順でウエストベルトを装着し(23–24ページ ❷ ❸)、その後、本品を右側にずらします。



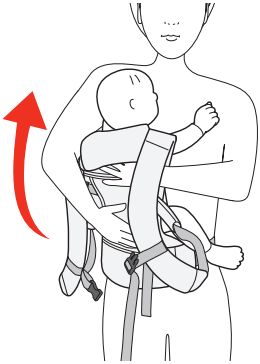
自分から見て右側の肩ストラップを緩めます。

❸ お子さまを対面で抱き上げます。



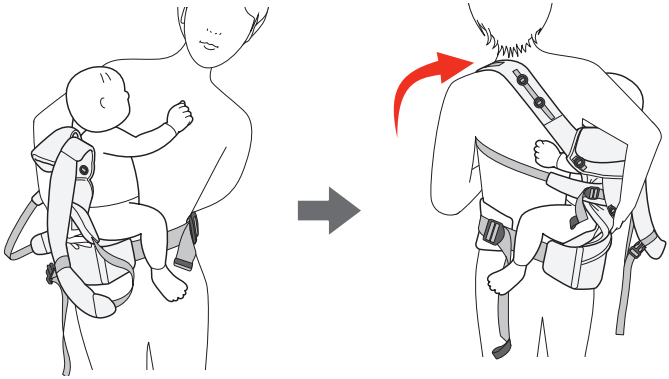
右側にずらした本品の中央にくるようにお子さまを抱き上げます。

❹ 本品をお子さまの背面にかぶせます。



お子さまの身体をしっかりと包み込むように本品をかぶせます。

❺ 肩ストラップを左肩にかけます。

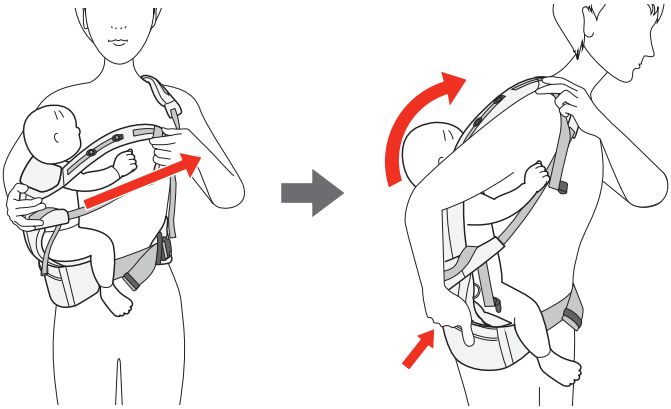


お子さまを右腕全体で支えながら、左腕を後ろに伸ばし、おんぶした際に左肩にくる肩ストラップを左腕にかけます。

参考

左腕が肩ストラップに届きにくい場合は、本品を少し背中側に回します。

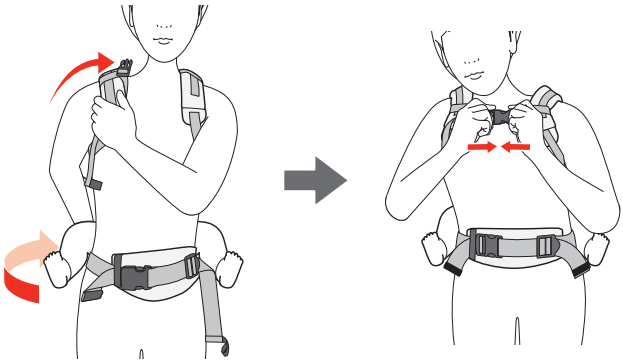
❻ 肩ストラップを右肩にかけます。



左手で右肩にかける肩ストラップを引き寄せてお子さまと距離が出来ないようにし、本品と一緒に**お子さまを右脇の下から背中に回します。**
お子さまと距離ができないようにして右肩に肩ストラップをかけます。

⚠注意　右肩に肩ストラップをかけたら、右腕でお子さまをしっかりと支えてください。

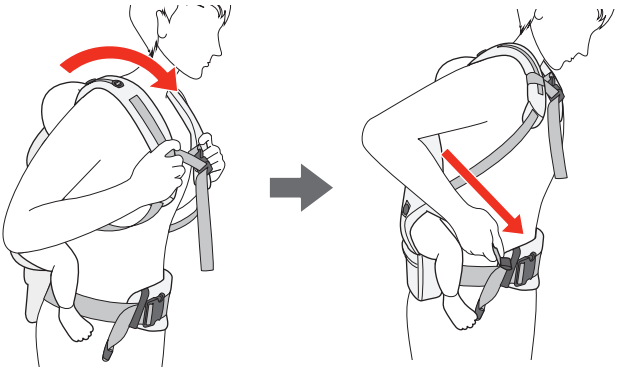
❼ **背中ストラップを留めます。**



お子さまが使用者の背中の中央にくるように、お子さまを支えながら本品の位置を調節し、背中ストラップを胸の前で留め、長さと位置を調節してください。

❽ **肩ストラップの長さを調節します。**

⚠警告 お子さまを使用者の身体に強く縛り付けずに、お子さまの頭部を動かせる余裕をもって装着してください。



肩ストラップの余りを引き寄せ、肩調節ストラップを締めます。肩ストラップに緩みがなく、長さが左右均等になるように調節してください。ストラップの余りはストラップまとめ用ゴムでまとめます。
また、ウエストベルトが緩い場合は締め直してください。

ストラップのまとめ方　24ページ ❸へ
肩ストラップの緩め方　26ページ ❼へ

●お子さまを降ろす際は、背負うときと逆の手順で行ってください。

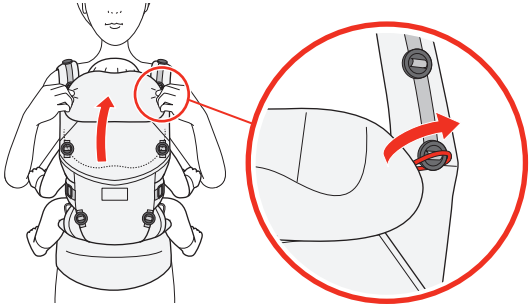
フードの使用方法

動画 フードの使用方法

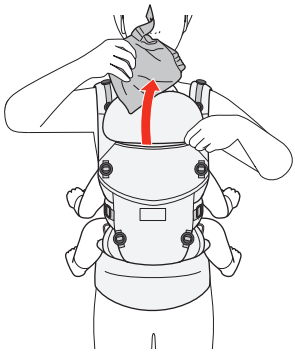
日よけ、風よけとして使用できます。

⚠警告
- 前向き抱っことおんぶではフードを使用しないでください。
- フードでお子さまの頭を支えないでください。

❶ ヘッドサポートを立ち上げ、ヘッドサポートループをヘッドサポート用ボタン(上)に引っ掛けます。
お子さまの月齢が7週未満の場合は、ヘッドサポートを裏側に折ります。

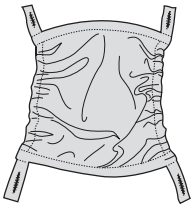


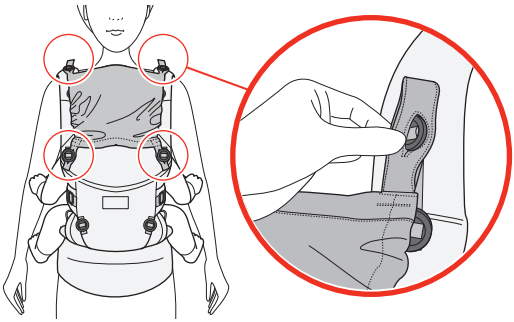
❷ フード収納ポケットからフードを取り出します。



❸ フードを取り付けます。
フードの向きに注意して全てのフードストラップをフード用ボタンに引っ掛け、お子さまの様子が確認できるようにフードを調節してください。

フードの向き
- ひだが左右にくるように取り付けます。
- 上下はどちらの向きでも使用可能です。





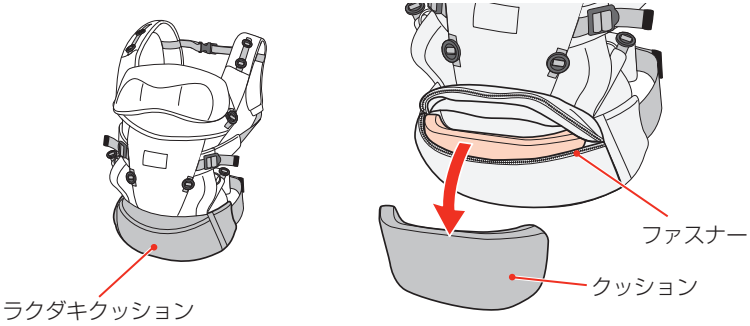
参考
フード用ボタンはスライドさせて位置を調節できます。

⚠警告
- フードの隙間からお子さまの様子を確認できるように取り付けてください。
- フードを使用する際も、常にお子さまの様子を確認してください。

お手入れのしかた

洗濯する前の準備

① ラクダキクッションのファスナーを開け、中からクッションを取り外します。



⚠注意

- ラクダキクッションのファスナーを開閉するときやクッションを出し入れするときは、クッションがファスナーに引っ掛からないように注意してください。ファスナーに引っかかるとクッションが破損するおそれがあります。
- クッションは洗濯できません。クッションが汚れた場合は、薄めた中性洗剤を含ませ固く絞った布で拭いてください。

② フード収納ポケットからフードを取り出します。

③ すべてのバックルと面ファスナーを留め、ラクダキクッションのファスナーを閉じます。

⚠注意 面ファスナーは位置を合わせ、強く押してしっかりと留めてください。洗濯中に面ファスナーが外れると生地を傷つけるおそれがあります。

④ すべてのストラップをストラップまとめ用ゴムから外します。

⑤ 洗濯ネットに入れます。

⚠注意 本体とフードは別々の洗濯ネットに入れてください。

お手入れのしかた

洗濯上の注意	
30	30℃以下の液温で、洗濯機は弱水流または弱い手洗いモードで洗濯してください。また、必ず洗濯ネットおよび、中性洗剤を使用してください。
	塩素系および酸素系漂白剤による漂白はできません。
	タンブル乾燥はできません。
	洗濯機で脱水後、形をととのえてから陰干しし、よく乾かしてください。ねじり絞りは避けてください。
	アイロン掛けはできません。
	ドライクリーニングはしないでください。
W	弱い操作によるウェットクリーニングができます。

⚠注意

- 蛍光増白剤は使用しないでください。
- つけ置き洗いはしないでください。
- 色落ちする場合がありますので、他の洗濯物とは分けて洗濯してください。
- 湿った状態での摩擦等により、他のものに色移りすることがあります。

⚠警告

油やシンナーなどの有機溶剤、薬品は使用しないでください。また、洗剤の種類によってもバックル等の樹脂素材が劣化し、損傷することによりお子さまが落下するおそれがあります。

よくあるご質問

よくあるご質問は以下のエールベベウェブサイトまたはQRコードから確認することができます。
よくあるご質問では、本品についての疑問・質問への回答、およびアドバイスを行っています。

パソコンから・・・　https://ailebebe.jp/support/

よくあるご質問

スマホから・・・・

パーツの購入はこちらから・・・・

お客様の疑問・質問が掲載されていない場合は、お手数ですが、AIチャットボットまたは巻末に記載のWEBサイトにてお問い合わせください。

AIチャットボットでのお問い合わせについて

LINEのチャットで本品に関するお問い合わせに24時間ご対応いたします。
下記QRコードからCarmate を友だち追加することでご利用いただけます。
※内容によっては、お答えできない場合があります。 あらかじめご了承ください。

LINE 友だち追加

製品情報

製品仕様

製品質量：約800g（フード、クッション含む）
本体：ポリエステル100%
フード：ポリエステル100%
ベルト：ポリエステル100%
クッション：発泡ポリウレタン

保管方法

すべてのバックルをはめ込み、袋に入れて、お子さまの手の届かない場所、かつ直射日光の当たらない涼しい場所で保管してください。

⚠注意　本品の上に物を載せた状態で保管しないでください。
重さによりクッションが変形するおそれがあります。

廃棄方法

お住まいの各自治体の指示に従い、処分・廃棄してください。

保証について

保証規定

- 保証期間内(購入日より1年間)に不良加工など弊社の責任によるもの、取扱説明書や注意書きに従った正常な使用状態において、万が一故障した場合には無料にてアフターサポートを行います。
- レシート等、購入日の証明となるものが必要です。
- 交換の判断は株式会社カーメイトの基準に準ずるものとします。

保証の対象外

以下に該当する要件につきましては無料・有料を問わず保証の対象外となります。

- お客さまご自身、または権限の無い第三者が修理・改造をした場合。
- 本品を正常に使用するにおいて安全上の問題がない場合。
- 通常の使用や洗濯による本品の色落ち、擦り切れ、ほつれ。
- 紫外線等による自然劣化や洗濯によるゴム素材の伸び。
- 誤ったお手入れ方法、または使用方法による部品の変形、破損、紛失および機能不全。
- 他の人から譲り受けたもの。
- オークションやフリーマーケット、リサイクルショップなどで購入したもの。
- 一般家庭以外で業務用やレンタル品として使用されたもの。
- レシート等、購入日の証明となるものがない場合。
- 保証書のご提示がない場合。
- 製品の紛失、盗難の場合。

有料保証となる場合

以下に該当する要件につきましては、無料の保証期間においても有料での対応となります。

- 本取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた破損や不良。
- 地震、雷などの自然災害、および、お客さま、第三者の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた破損や不良。

※交換の場合に要する運賃などの諸経費も有料となります。

交換・交換後の差異について

- 本品の交換に使用するパーツは、当初のパーツと異なるものとなる場合があります。
- 交換後の製品はお買い上げ時のモデルと異なる場合があります。
- 本品の交換に必要なパーツの在庫がなくなった後は、交換に対応できないことがあります。
- 本品が製造中止となり交換品の在庫がなくなった後は、交換に対応できないことがあります。

保証の適用

- 本保証は日本国内でのみ有効です。
- 本品の使用開始をもって、本規定に同意いただいたものとみなします。

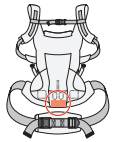
※本規定はお客さまの法律上の権利を制限するものではございません。
This warranty is valid only in Japan.

保証書

保　証　書

本保証書は、保証規定に基づいて無料または有料でアフターサポートすることをお約束するものです。
ご購入日から保証期間中に製品の故障が生じた場合は、巻末に記載のWEBサイトからお問い合わせいただくか、本保証書を弊社サービスセンターまたはご購入の販売店にご提示の上、お問い合わせください。

ご購入後、ご使用になる前に商品名、品番、製造番号、ご購入日、お客様名、
ご購入店名をただちにご記入願います。本証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
レシート等、購入日の証明となるものを本書と一緒に保管してください。



製造番号は
シートアジャストメント裏に
表記されています。

商品名 品　番	製造番号　※12A34567などの英数字
保証期間 ご購入日より1年間（保証規定による）	ご購入日 年　月　日
お客様名 ご住所　〒 TEL	ご購入店名 住所　〒 TEL

メモ

見本

株式会社カーメイト
本社/〒171-0051 東京都豊島区長崎5-33-11

MEMO

お問い合わせ先

株式会社カーメイト

〒171-0051 東京都豊島区長崎 5-33-11

カーメイトサイト
お客様サポート
サービスセンター
03-5926-1212

パーツのご購入
カーメイト公式
オンラインストア
楽天市場店

電話受付時間〈平日〉10:00〜18:30
〈土・日・祝〉10:00〜12:00/13:00〜18:30

★ 年末・年始および盆期間の一部等は休業日とさせていただきますのでご了承ください。

●本書に記載している他社商標については、カーメイト WEB サイトをご確認ください。

●仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

●本品の誤った取扱いや改造した場合での事故について、当社はその責任を一切負いません。

20230428